

各派連絡会（6月28日）での議長発言

- 先に議会改革推進会議から報告のあった「本会議での質問方法」の内、一問一答方式について、私は最初の登壇で、すべての質問の内容を発言するものと思っていましたが、認識に誤りがありました。
- さらに、議員は第1問は登壇して2問目以降は自席から質問となるが、理事者は質問毎に登壇して答弁となるので、バランスに欠けるという思いがしました。
- 議長としては、議会の権威を保つため、これまでどおり演壇からの質問、答弁を基本とする案を提案したいと考えます。
- 具体的には、議席中央の最前列の4席を待機席（及び再質問席）と位置づけ、質問者は演壇での第1問の質問を終えると、この待機席において理事者の答弁を聞き、この席から再質問を行います。
待機席からの再質問に対しては、理事者は自席で再答弁を行います。
2問目以降については、最初の質問を再び登壇して行うという案です。
- 待機席の設置により議席の変更は生じますが、書見台も設置せず、椅子等の撤去工事も一切行いませんので、全く費用はかけません。
- なお、一括質問方式の場合は、現行どおり、質問は登壇して行い、答弁の聴取や再質問は自席で行います。
- 私の認識誤りで再度の協議をお願いして申し訳ありませんが、議会改革推進会議で、私の提案を検討していただきたいと思います。